

相模原市学校施設長寿命化計画

令和6年3月改訂

概要版

学校施設長寿命化計画の目的等

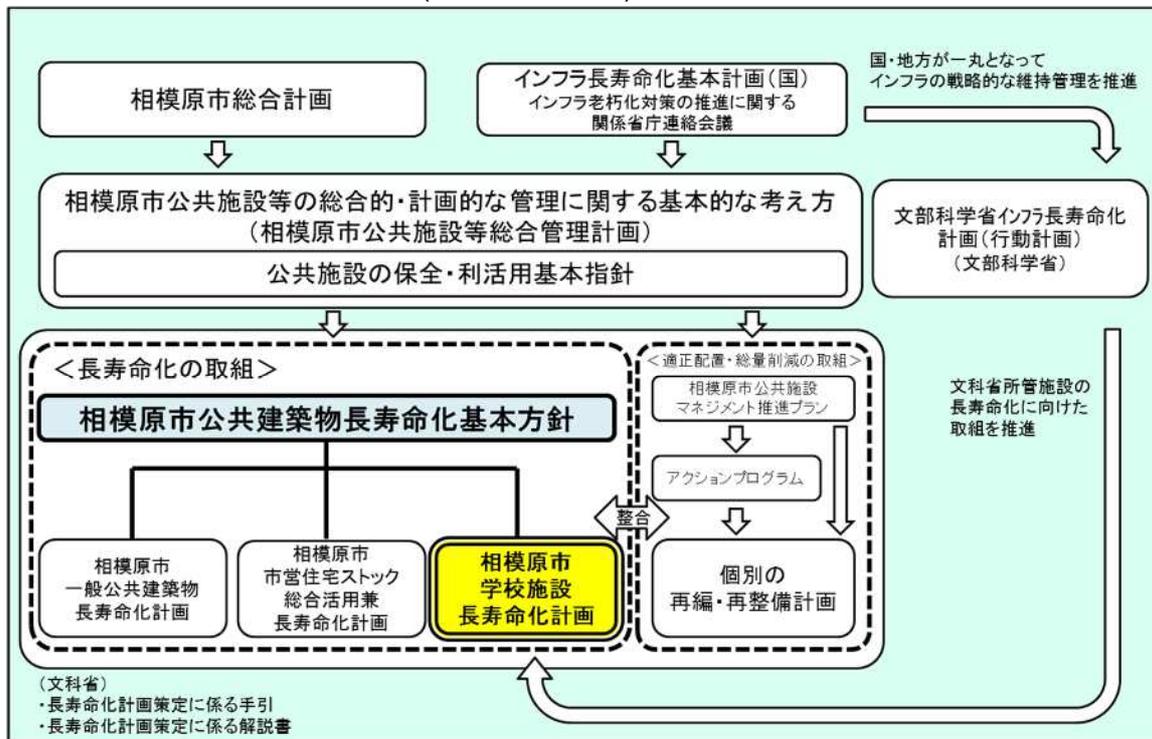
(本編 p.1 ~ 3)

(1) 計画の目的

- 本市が保有する学校施設の老朽化対策を推進し、効率的・効果的な整備計画の策定によってこれからの学校施設に求められる機能・教育環境における安全性・快適性の確保や役割に対応するために、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減、財政負担の軽減及び平準化を図り、計画的な施設の改修・建て替えを実施します。

(2) 計画の位置付け

- 本計画は、「相模原市総合計画」「相模原市公共施設等総合管理計画」「相模原市公共建築物長寿命化基本方針」や文部科学省の「インフラ長寿命化計画」に基づく、学校施設における長寿命化計画(個別施設計画)として位置付けるものです。



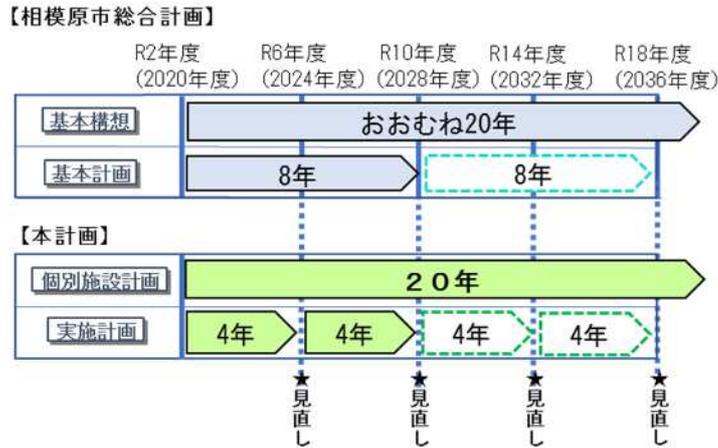
(3) 長寿命化の方向性

- 長寿命化により、維持管理や建て替え時期を見据えた整備においてトータルコストの縮減や財政負担の軽減及び平準化を図ることを目指し、相模原市公共建築物長寿命化基本方針(以下「長寿命化基本方針」という。)に基づき、目標使用年数をおおむね80年とします。

(4) 計画期間

計画期間：令和2年度から令和21年度まで

- 学校施設を集中して整備した期間の施設の建て替えが、今後20年間に集中することが想定されるため、計画期間を令和2年度から令和21年度までの「20年間」とします。
- 相模原市総合計画基本計画における8年間の中間である4年間を本計画の見直しサイクルとして設定し、具体的な実施計画として推進します。



(5) 対象施設

- 市立学校105校(小学校69校、中学校34校、義務教育学校2校)を対象とします。校舎、屋内運動場及び武道場を対象とし、棟数は合計469棟、延床面積は約72万㎡です。
- 校舎とは別棟のプール・倉庫等の付属施設は長寿命化改修の対象外とし、劣化が進み不具合が生じた場合に事後保全で対応するものとします。なお、別棟の給食室については今後、学校給食の在り方を踏まえて検討します。

【計画対象施設】

令和6年4月1日(見込み)

学校種別				棟用途別				構造別			
小学校	69校	291棟	432,867 ㎡	校舎	223棟	47.5%	376,412 ㎡	52.6%	RC造	223棟	376,412 ㎡
				屋内運動場	68棟	14.7%	56,455 ㎡	7.9%	S造	0棟	0 ㎡
中学校	34校	173棟	271,870 ㎡	校舎	131棟	27.9%	224,027 ㎡	31.3%	RC造	129棟	223,535 ㎡
				屋内運動場	34棟	7.2%	45,850 ㎡	6.6%	S造	2棟	492 ㎡
				武道場	8棟	1.7%	1,993 ㎡	0.3%	RC造	12棟	18,328 ㎡
					1棟				S造	22棟	27,522 ㎡
義務教育学校	2校	5棟	10,764 ㎡	校舎	3棟	0.6%	8,045 ㎡	1.1%	RC造	1棟	308 ㎡
				屋内運動場	2棟	0.4%	2,719 ㎡	0.4%	S造	7棟	1,685 ㎡
								RC造	3棟	8,045 ㎡	
合計	105校	469棟	715,501 ㎡	校舎	357棟	76.1%	608,484 ㎡	85.0%	RC造	355棟	607,992 ㎡
				屋内運動場	104棟	22.2%	105,024 ㎡	14.7%	S造	2棟	492 ㎡
				武道場	8棟	1.7%	1,993 ㎡	0.3%	RC造	32棟	41,552 ㎡
					1棟				S造	72棟	63,472 ㎡
				合計	469棟	100.0%	715,501 ㎡	100.0%	RC造	1棟	308 ㎡
					S造	7棟	1,685 ㎡				
					RC造	388棟	649,852 ㎡				
					S造	81棟	65,649 ㎡				

(6) 持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)

- 2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴールで構成されています。本計画において、特に関連の深いゴールは次のとおりです。



4 質の高い教育をみんなに



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



10 人や国の不平等をなくそう

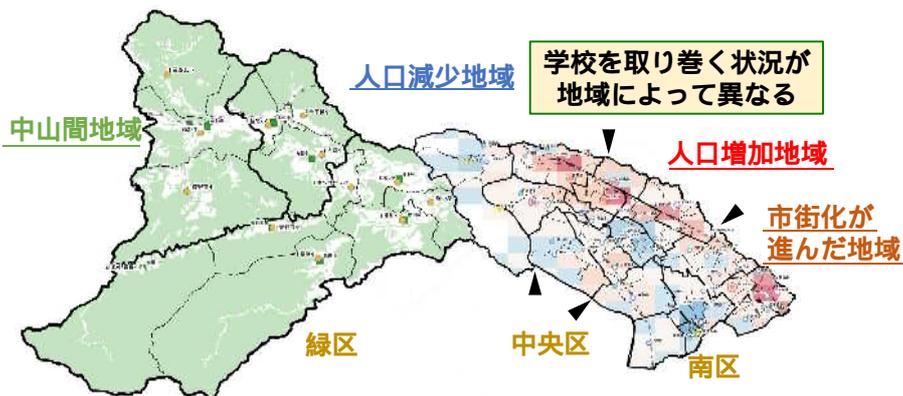


11 住み続けられるまちづくりを

学校施設を取り巻く現状と課題

(本編 p.4~10)

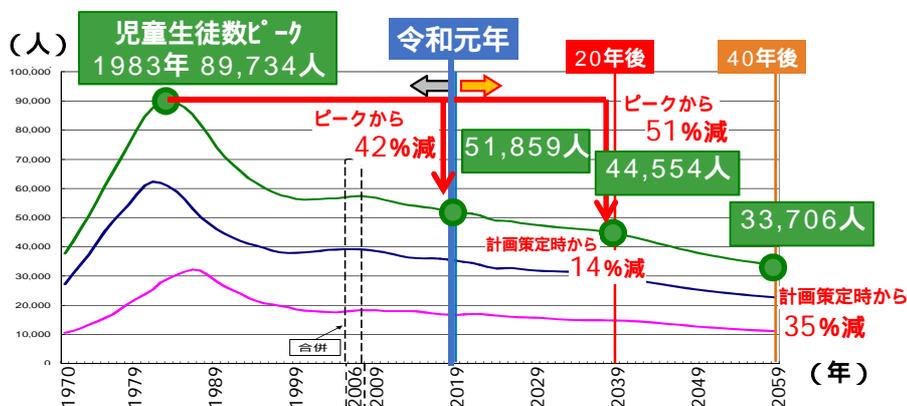
(1) 地区別状況の把握



- 現在も人口増加が続いている地区や既に人口減少が進行している地区等、地域によって学校を取り巻く状況も異なり、過小規模校から大規模校まで、学校規模にも大きく差が出ています。
- 児童の学習環境を適正に整え、望ましい学校規模とする必要があります。

「相模原市立小中学校望ましい学校規模のあり方に関する基本方針」(以下「あり方基本方針」という。)平成29年3月 相模原市教育委員会

(2) 児童生徒数・学級数の変化



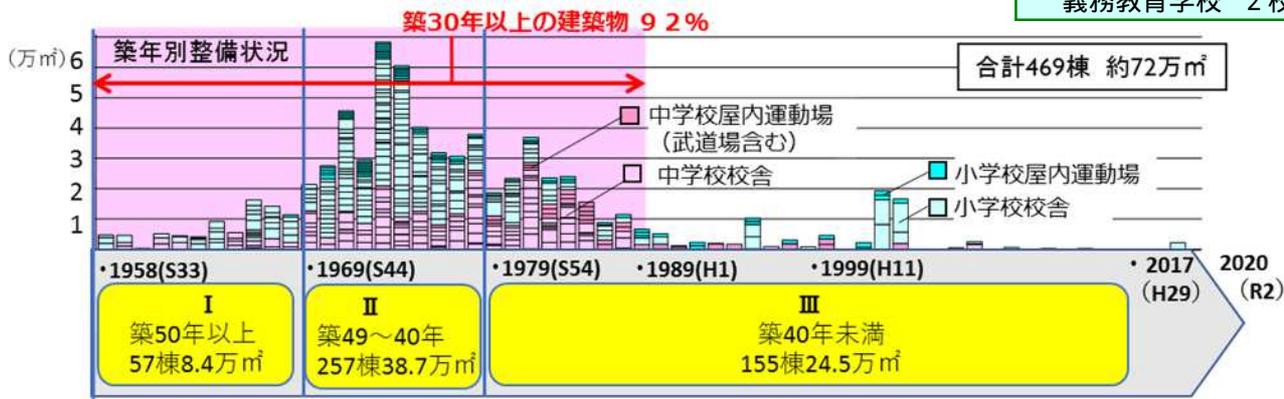
- 児童生徒数は、昭和58年の約9.0万人がピークで、その後減少傾向となっており、令和元年現在は約5.2万人と、ピークから約42%減少しています。
- 今後も減少傾向は続き、本計画策定時から20年後の令和21年には約4.5万人と本計画策定時から約14%、ピークから約51%減少する予測です。

学校施設の実態

(本編 p.11~22)

(1) 築年別整備状況

小学校	69校
中学校	34校
義務教育学校	2校

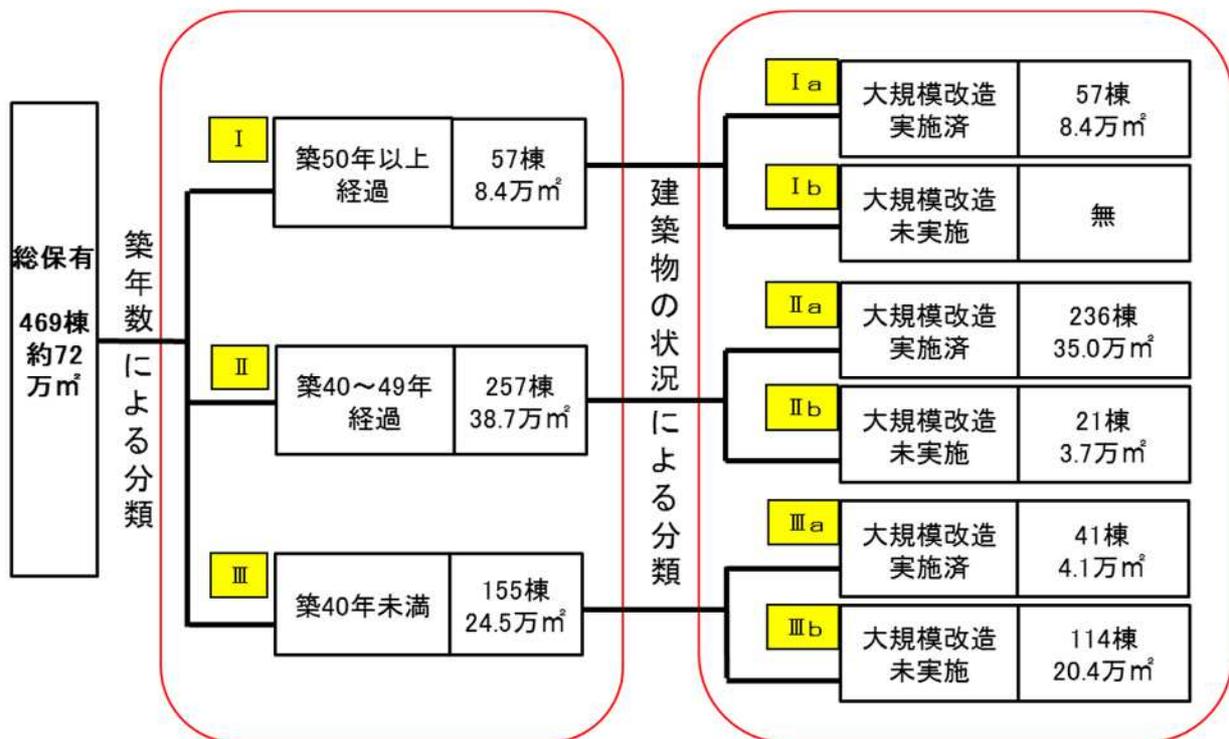


※ 築年及び築年数は、令和2年(2020年)時点

- 本市の学校施設の整備時期は、昭和33年に始まり、児童生徒が急増した昭和45年(1970年)から昭和59年(1984年)までの15年間に集中しています。
- 築30年以上経過した建築物が全体の約9.2%を占め、築40年以上経過した建築物は全体の約6.7%となっており、老朽化が進行しています。
- 保有施設を、本計画策定の令和2年時点の築年数で「築50年以上」経過したもの、「築40年~49年」経過したもの、「築40年未満」経過したものと分類しました。

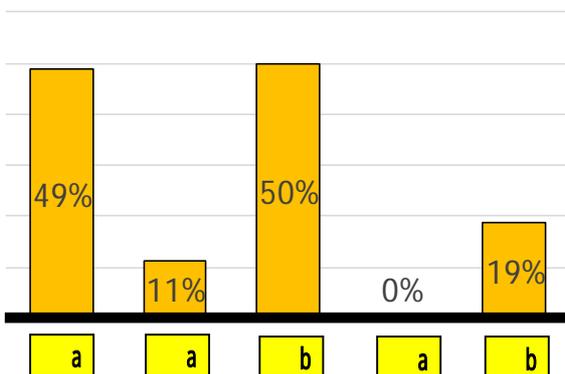
- 「Ⅰ」類の建築物は、長寿命化の目標使用年数80年に対して残り年数が30年以下になります。また、全て過去に大規模改造を行っていますが、実施から20年以上経過し、建築物の外部の劣化が再度進行するものが多くなっています。
- 「Ⅱ」類の建築物は、多くが過去に大規模改造を実施していますが、築40年前後の棟については大規模改造を実施しておらず建築物外部の劣化が進行しているものがあります。
- 「Ⅲ」類の建築物は、大規模改造を実施していないものが多く、築20年以上のものは建築物外部の劣化が進行しています。

(2) 築年数と建築物の状況(改修履歴による分類)



- 築年数による「Ⅰ」～「Ⅲ」の分類を、さらに建築物の改修履歴で「a：大規模改造実施済」と「b：大規模改造未実施」に分類しました。
- 主に築50年以上の「Ⅰa」や、大規模改造未実施の「Ⅰb」、「Ⅱb」の劣化が進行しており、分類の特色に応じて、効果的な整備の在り方を設定します。

(3) 劣化が進行している分類



施設整備における視点 主な実態・課題

児童生徒数はピーク時から42%減少している

学校別では、今後も増加が見込まれる学校、すでに小規模校化が進行している学校等、様々

余裕教室を保有している学校もある

児童生徒数や活用状況の変化に応じた見直しを継続的に検討する必要がある

(1) 学校施設整備に際し留意すべき課題

- 学校施設の保有量と老朽化
- 児童生徒数の推移
- 学校規模の在り方
- 財政的な課題
近年の気象状況を踏まえた空調設備の設置等については別に検討

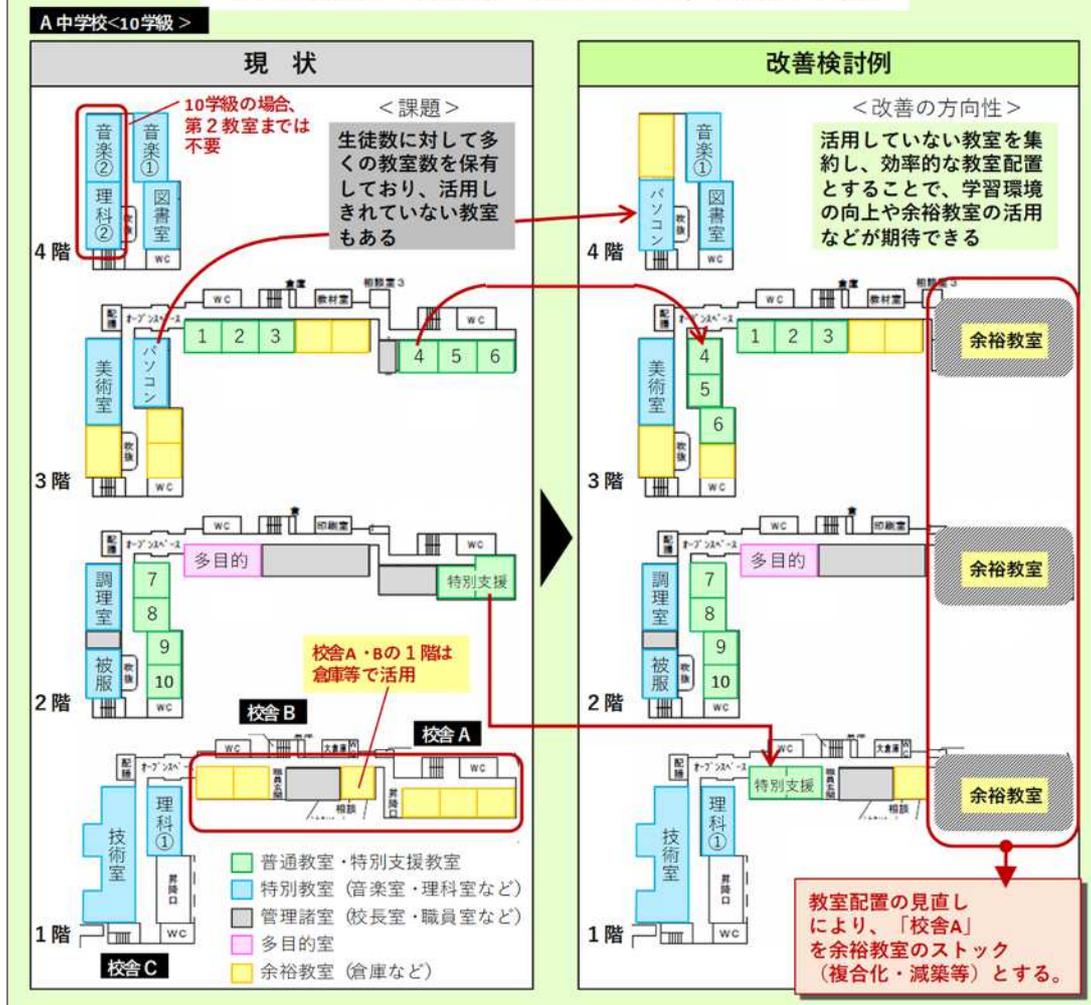
(2) 学校施設の目指すべき姿

- 長期に使用できる学校施設
- 効率的な維持管理ができる学校施設
- 適正な規模・配置の学校施設
- 児童生徒や教職員の学習環境・生活環境の向上
- 安全性やセキュリティ、防災機能が強く、安全に過ごせる学校施設
- インクルーシブ教育の促進、バリアフリー対応の学校施設

(3) 施設整備における視点

- 学校施設の整備計画・水準の構築
- 児童生徒数に見合った施設
- 学校施設の適正規模・適正配置
- 財政負担の軽減及び平準化

見直し検討例：教室配置の見直しにより、余裕教室を集約



(4) 施設整備方針

● 80年型整備(長寿命化改修)への移行・整備サイクルの見直し

● 本市の学校校舎等は、耐用年数を60年として、築20～30年程度で大規模改造、60年で建て替えが予定されてきました。

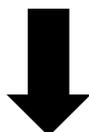
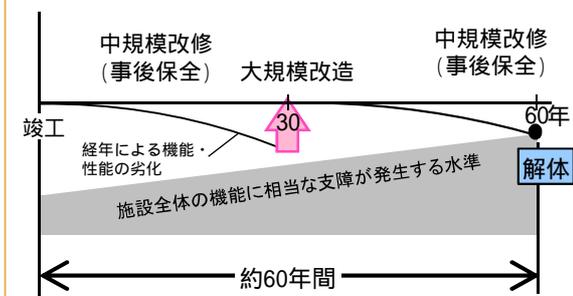
● 築60年で建築物を建て替える「60年型整備」では、今後の建て替えや事後保全等の整備に多大なコストが見込まれるため、整備サイクルを見直し、トータルコストの縮減を図ります。

● 建築物の使用年数を「80年」とし、経年により建築物の機能・性能が劣化して行く中、築40年で長寿命化改修、築20年・60年で中規模改修を行います。なお、既に大規模改造を行っている建築物は、築60年で大規模改造を行い、80年使用することとします。

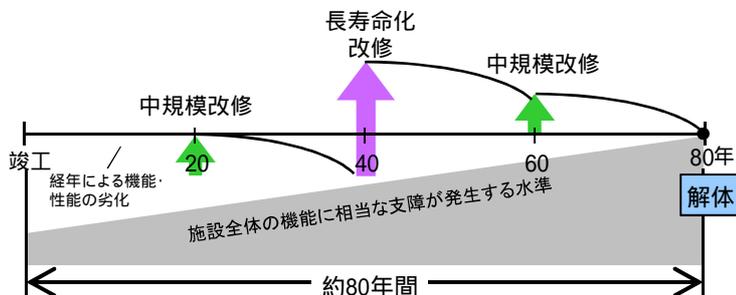
● これまで築年数が古い棟から大規模改造を実施してきましたが、劣化状況や残りの使用年数を考慮し、更に効率的な施設整備を目指すものとします。

● 建築物の状況に応じ、長寿命化改修、大規模改造、中規模改修を使い分け、整備コストの縮減を踏まえ整備サイクルを見直します。

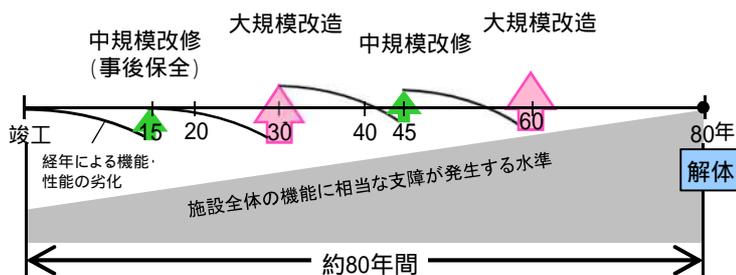
【これまでの整備のイメージ】 60年型整備



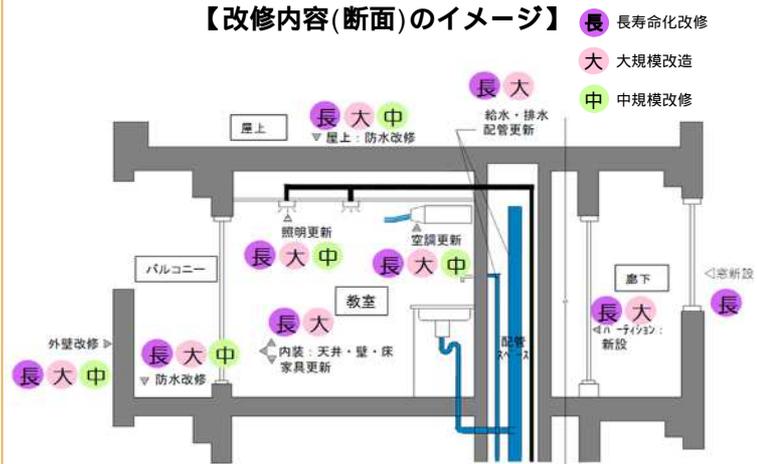
【80年型整備(長寿命化改修)サイクルイメージ】



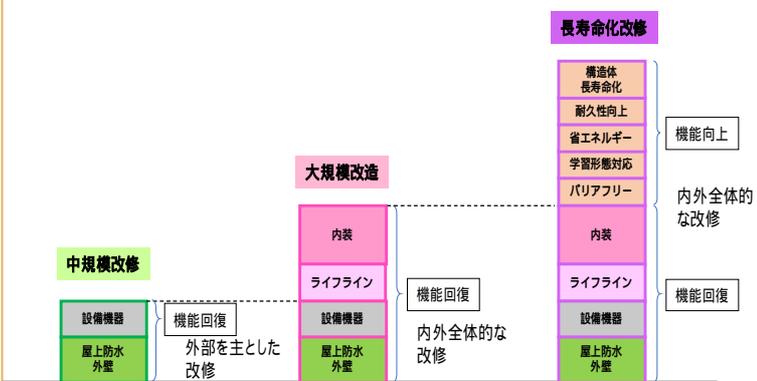
【80年型整備(大規模改造)サイクルイメージ】



【改修内容(断面)のイメージ】



【工事ごとの比較イメージ】



【1年目工事と2年目工事のイメージ】

1年目：夏休み(夏休みの前後の学期を含む場合があります。)



○屋上防水改修後に雨漏り被害を出さないため1年目に実施する。
○外部に面した建具を1年目に改修する。

2年目：夏休み(夏休みの前後の学期を含む場合があります。)



○外部に面した建具を1年目に改修するため外壁は2年目とする。
○夏休みが短縮され床塗装までは1年目で終わらないため2年目に行う。

(5) 施設整備水準

● 整備内容

ア 長寿命化改修

躯体の長寿命化や建築物の耐久性を高める仕上げ材を採用するとともに、省エネルギーなどの社会的要請に応じた改修

- 建築物を全面的に改修
- 断熱性の高い建具へ更新
- ライフライン更新
- 屋上防水・外壁の全面的な補修等

イ 大規模改造

経年により通常発生する建築物の損耗、機能低下に対する復旧措置を行う改修

- 建築物を全面的に改修
- ライフライン更新
- 屋上防水・外壁の全面的な補修等

ウ 中規模改修

建築物を良好な状態に保つための予防保全的な改修

- 屋上防水・外壁の全面的な補修等

● 整備の工程(長寿命化改修)

- これまでの大規模改造は、学習環境への影響を考慮し、主に夏休み期間を活用して行ってきました。
- 今後長寿命化改修へ切り替えた場合には工事内容が増え、工期が長くなることが予想されます。
- 昨今では夏休み期間がこれまでより短くなったことを踏まえ、改修する部位を分割し、工事期間を複数年に分けて改修を行うこととします。

【整備サイクルの分類】

整備サイクル	整備内容
a, a, a 80年型整備 (大規模改造)	築60年経過時に大規模改造(2回目)を行い、80年程度で改築する施設(1)
b, b, b 80年型整備 (長寿命化改修)	築40年経過時に長寿命化改造を行い、60年(20年)経過時に中規模改修を経て80年程度で改築する施設

1 | aの中には既存の劣化状態により長寿命化せず建築後60年程度で改築する施設を含む

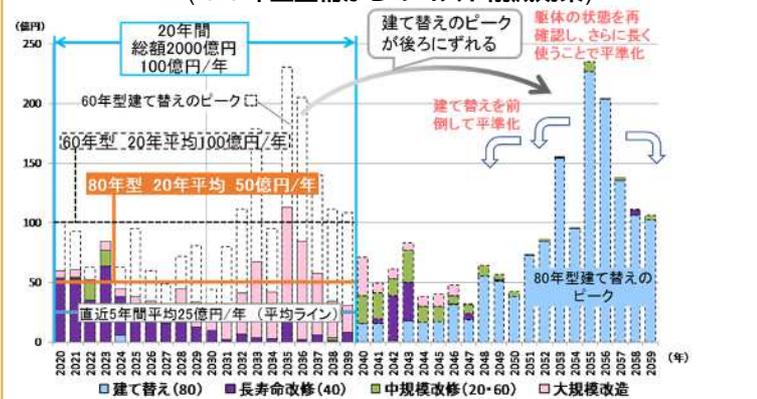
● 整備サイクル

- 本市の学校施設の約9割は築30年を経過し、築50年以上の施設も存在します。これまで築年順に大規模改造を行ってきました。これからの長寿命化移行にあたり、これまでの整備状況により、今後の改修を分類して対応します。

長寿命化の実施計画

(本編 p.31 ~ 40)

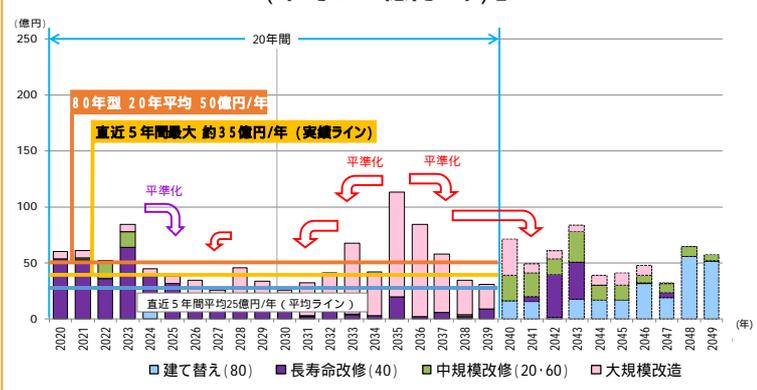
【80年型による整備コスト】
(60年型整備からのコスト削減効果)



(1) 整備コストの検討

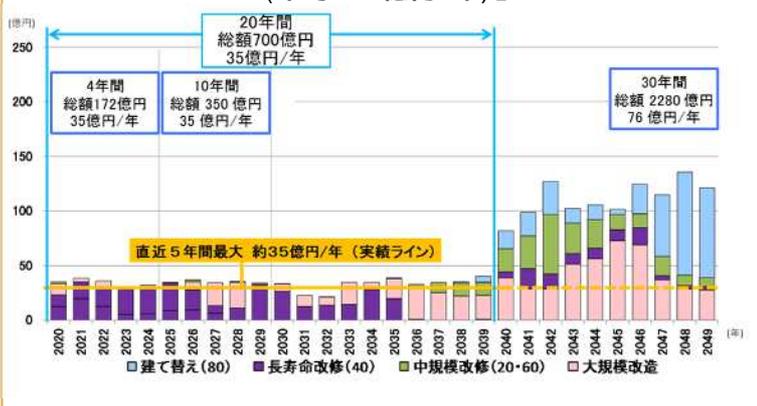
- 大規模改造と長寿命化改修を使い分けた「80年型整備」でのコスト試算では、今後20年間の平均コストは1年当たり50億円となり、60年型の2分の1となります。

【80年型による整備コストと平準化イメージ】
(平均50億円/年)



- 単年度に多くの工事が集中しないよう、工事の先送りや前倒し、面積の削減などにより整備件数やコストの「縮減」を検討します。
- 80年型整備においては、20年間で1年当たり50億円で整備するものを、本計画策定前直近5年間の整備実績ラインである1年当たり35億円の事業規模として長寿命化改修を行うものとし、財政負担と整備件数の「平準化」を図ります。

【80年型による整備コストと平準化イメージ】
(平均35億円/年)



- 20年後には、先送りにした建て替えや平準化した大規模改造が重なることとなりますが、今後の児童生徒数や教育ニーズ等の状況の変化を踏まえ、改修・建て替えの対象や整備水準、余裕教室の状況等を見据え、計画の見直しや事業スケジュールの平準化を更に検討します。その中で段階的に面積やコストを縮減していくものとします。

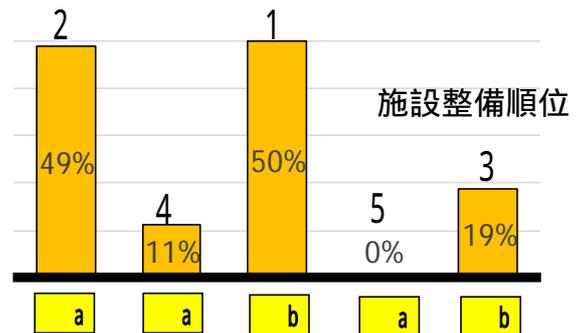
「直近5年間」は平成26年度から平成30年度まで

【分類による施設整備順位】

- Ⅱb これまでに一度も改修していない劣化状況が進んでいる分類で、長寿命化改修の対象となります。
Ⅱbの建築物の中から築年数の古い順に全て改修します。
- 2
- Ⅰa 一度改修はしているものの劣化状況が進んでいる分類で、大規模改造の対象となります。
Ⅰaの建築物の中から築年数の古い順に全て改修します。
- 3
- Ⅲb 築40年以内の建築物でこれまでに一度も改修していない分類で、長寿命化改修の対象となります。劣化度を見て判断します。
(築年数が40年を超過するとⅡbとなります。)
- 4
- Ⅱa 築40年～49年の建築物で一度改修している分類で、大規模改造の対象となります。劣化度を見て判断します。
(築年数が49年を超えるとⅠaとなります。)
- 5
- Ⅲa 築40年以内の建築物で直近で一度改修しており、比較的劣化の進行はしていない分類で、大規模改造の対象となります。劣化度を見て判断します。
(築年数が40年を超過するとⅡaとなります)

(2) 整備順位

- 分類ごとに屋根・屋上、外壁共に劣化が進んでいる棟の割合をみると、大規模改造未実施の「b」、主に築50年以上の「a」や大規模改造未実施で築年数40年未満の「b」の順に劣化が進行しているため、整備順位を整理します。

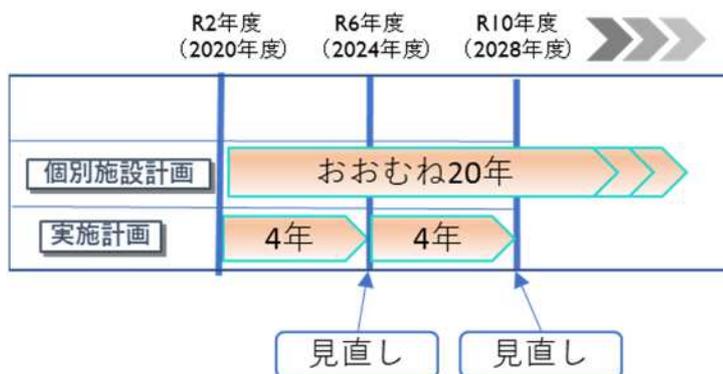


- 一つの学校に校舎等が複数棟ある場合は、工事期間を重複させず整備順位を調整します。
- 校舎等の築年数が同一の場合には、総合劣化度により劣化が進んでいるものを優先します。
- 棟全体が余裕教室となり得る場合には、その棟の改修は見送りとします。
- 学校を取り巻く地域の環境を含めて整備順位を考慮します。
- 「あり方基本方針」で協議を進める学校は、その進捗状況によって実施の有無を検討します。
- ただし建物の老朽化は日々進行していくため、必要に応じて児童生徒の教育環境における快適性や安全性への対応を行います。

【分類ごとによる劣化状況と総合劣化度（抜粋）】

分類	建物基本情報								躯体の健全性					劣化状況					総合劣化度				
	学校番号	施設名	棟	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部		電気設備	給排水設備		
							西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	(圧縮強度) (N/mm ²)								中性化深さ (mm)	判定
a	57棟	7 旭小	C	RC	2	783	1958	S33	61	旧	済	-	S63	23.1	10.5	長寿命	B	C	B	B	B	B	
		11 淵野辺小	B-1	RC	3	2,024	1959	S34	60	旧	済	済	H1	26.9	16.8	長寿命	C	C	B	B	B	B	
		505 旭中	B	RC	3	1,458	1969	S44	51	旧	済	済	H9	29.4	8.0	長寿命	C	B	B	B	B	B	
		22 桜台小	B	RC	3	2,161	1969	S44	51	旧	済	済	H1	33.0	11.3	長寿命	B	B	B	B	B	B	
a	237棟	23 上鶴間小	A-1	RC	3	1,299	1970	S45	50	旧	済	済	H7	32.2	0.0	長寿命	B	C	B	B	B	B	60
		509 清新中	A-1	RC	3	2,297	1970	S45	50	旧	済	済	H4	22.5	17.5	長寿命	B	B	B	B	B	B	49
		42 田名北小	A	RC	4	1,965	1977	S52	42	旧	済	済	H9	26.2	13.8	長寿命	A	A	A	A	A	A	11
		535 北相中	A	RC	3	3,183	1979	S54	41	旧	済	済	H18	25.6	7.0	長寿命	A	A	A	A	A	A	13
b	21棟	15 清新小	B	RC	2	1,506	1977	S52	42	旧	済	-	H10	25.7	5.5	長寿命	D	C	B	B	B	B	83
		46 宮上小	A	RC	4	3,667	1978	S53	41	旧	済	-	H15	22.9	17.8	長寿命	C	C	B	C	B	B	79
		43 弥栄小	A	RC	3	2,570	1978	S53	41	旧	済	済	H10	23.4	8.9	長寿命	B	C	B	B	B	B	72
		501 相陽中	B	RC	3	2,590	1979	S54	40	旧	済	済	H10	23.5	0.0	長寿命	C	B	B	B	B	B	71
a	41棟	9 相原小	D	RC	2	410	1980	S55	39	旧	済	-	H10	25.4	8.0	長寿命	A	A	A	A	A	A	12
		62 中野小	C	RC	3	1,155	1981	S56	38	旧	済	-	H9	25.6	1.8	長寿命	A	A	A	A	A	A	12
b	113棟	41 二本松小	B	RC	2	868	1980	S55	39	旧	済	-	H9	30.2	4.9	長寿命	C	C	B	B	B	B	75
		521 上溝南中	A-1	RC	3	2,506	1980	S55	39	旧	済	-	H10	28.6	6.0	長寿命	C	C	B	B	B	B	75
		50 淵野辺東小	D	RC	3	639	2008	H20	12	新	-	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	A	A	A	19
		2 麻溝小	A	RC	3	2,206	2017	H29	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	A	7	

【実施計画による見直しサイクル】



(3) 実施計画での見直しルール

- 今後は建築物の劣化状況を把握するための点検等を確実に実施するとともに、学校を取り巻く環境の変化や、児童生徒数の変化などを反映し4年ごとに計画を見直します。計画の見直しにおいては、地域状況の変化、違いなどに配慮し、下記のルールに従って検討を行っていきます。

<見直し内容>

- (1) 学校を取り巻く地域の環境や施設の老朽化状況が異なることを踏まえ、地域ごとの特性に基づく対応を行います。
 - 今後の「あり方基本方針」に基づいた適正規模・適正配置に応じ、整備します。
 - 「あり方基本方針」で協議を進める学校は、その検討や進捗状況によって整備順位を見直します。
- (2) 児童生徒数の変化を的確に把握し、施設に求められる柔軟な対応を検討します。
 - 児童生徒数の増加や減少を見据えた教室配置の見直しを行います。
 - 教室配置の見直しの検討状況によって、整備順位を見直します。
- (3) 他の公共施設との集約化・複合化、共用化等のためにストックとして維持します。
 - 余裕教室等の推移を整理し、配置を検討します。
 - 周辺公共施設の在り方等の方向性を勘案します。

本計画の改訂について

(本編 p.40 ~ 42)

令和2年度から令和5年度までの長寿命化改修等の実施実績や学校を取り巻く環境の変化等を反映し、令和6年度から令和9年度までの長寿命化改修等の対象となる学校施設について、年度別の対象施設及び事業費等を定めるものです。

【当初4年間(令和2年度から令和5年度まで)の対象リスト】

下記の数字は概算事業費(百万円)

学校 番号	学校棟名	面積	建築 年度	築年数	総合劣 化度	改修時の 築年数	実施年度					
							1年目	2年目	3年目	4年目		
							2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)		
015	清新小 B	1506	1977	42	84	43	長 256	長 45				
043	弥栄小 A	2570	1978	41	73	42	長 437	長 77				
046	宮上小 A	3667	1978	41	80	42	長 623	長 110				
047	九沢小 B	1132	1979	40	77	41	長 192	長 34				
501	相陽中 B	2590	1979	40	72	41	長 440	長 78				
505	旭中 C	1374	1979	40	72	41	長 234	長 41				
517	中央中 D	443	1977	42	79	43	長 89					
517	中央中 E	695	1977	42	74	43	長 139					
520	相原中 A	3678	1979	40	77	41	長 625	長 110				
007	旭小 C	783	1958	61	-	62	大 121					
016	相模台小 B	1851	1959	60	-	61	大 287					
506	大野北中 A-2	340	1961	58	-	59	大 53					
506	大野北中 A-1	1065	1960	59	-	60	大 165					
507	大野南中 A-2	458	1972	47	-	48	大 71					
507	大野南中 A-1	2282	1963	56	-	57	大 354					
008	向陽小 C	906	1980	39	83	41		長 154	長 27			
041	二本松小 B	868	1980	39	76	41		長 148	長 26			
048	谷口小 A	4644	1980	39	56	41		長 418	長 372	長 139		
504	大沢中 C	1718	1980	39	71	41		長 292	長 52			
511	麻溝台中 C	1684	1980	39	66	41		長 286	長 51			
521	上溝南中 A-1	2506	1980	39	76	41		長 426	長 75			
016	相模台小 A-1	2312	1960	59	-	61		大 358				
016	相模台小 A-2	426	1964	55	-	57		大 66				
507	大野南中 B	1189	1960	59	-	61		大 184				
508	相模台中 E	1410	1966	53	-	55		大 219				
028	橋本小 B-2	1294	1981	38	65	41			長 220	長 39		
046	宮上小 B-2	537	1981	38	75	41			長 91	長 16		
046	宮上小 B-1	641	1978	41	68	44			長 109	長 19		
047	九沢小 C-1	1142	1979	40	77	43			長 194	長 34		
047	九沢小 C-2	578	1981	38	75	41			長 98	長 17		
050	淵野辺東小 A	1876	1981	38	65	41			長 319	長 56		
501	相陽中 A	1716	1978	41	58	44			長 292	長 51		
519	弥栄中 A-2	1820	1981	38	75	41			長 309	長 55		
520	相原中 C	1802	1979	40	77	43			長 306	長 54		
007	旭小 B-2	439	1964	55	-	58			大 68			
007	旭小 B-1	421	1963	56	-	59			大 65			
009	相原小 A	1401	1962	57	-	60			大 217			
012	南大野小 A-1	1753	1964	55	-	58			大 272			
505	旭中 D	1747	1962	57	-	60			大 271			
521	上溝南中 C	1346	1981	38	70	42				長 229		
522	小山中 B	2627	1982	37	69	41				長 447		
524	由野台中 A	3621	1982	37	79	41				長 616		
005	星が丘小 A-1	1202	1965	54	-	58				大 186		
007	旭小 A	2161	1965	54	-	58				大 335		
013	谷口台小 B-1	1793	1967	52	-	56				大 278		
014	中央小 C	1546	1964	55	-	59				大 240		
017	東林小 B	2283	1965	54	-	58				大 354		
506	大野北中 B	1902	1966	53	-	57				大 295		

長 : 長寿命化改修 大 : 大規模改造

- 1 施設の劣化状況の詳細調査等により、改修の順番を変更する場合や改修を行わないことがあります。
- 2 築年数及び総合劣化度は、令和元年度(2019年度)末時点

【当初4年間(令和2年度から令和5年度まで)の実績】

令和2年度から令和4年度までは実績額
令和5年度は実績見込額 (百万円)

学校 番号	学校棟名	面積 (㎡)	建築 年度	築年数	総合劣 化度	改修時の 築年数	実施年度							
							1年目	2年目	3年目	4年目				
							2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)				
015	清新小 B	1506	1977	42	84	43	長	303	長	26				
043	弥栄小 A	2570	1978	41	73	43			長	354	長	150		
046	宮上小 A	3667	1978	41	80	43			長	357	長	270	長	88
047	九沢小 B	1132	1979	40	77	42			長	203			長	310
047	九沢小 C-1	1142	1979	40	77	44							長	
047	九沢小 C-2	578	1981	38	-	-	集約化・複合化、共有化等のストックとして想定							
501	相陽中 B	2590	1979	40	72	42			長	376	長	86		
505	旭中 C	1374	1979	40	72	41	長	271	長	30				
517	中央中 D	443	1977	42	79	44			長	250				
517	中央中 E	695	1977	42	74	44			長					
520	相原中 A	3678	1979	40	77	42			長	366			長	370
007	旭小 C	783	1958	61	-	-								
016	相模台小 B	1851	1959	60	-	-								
506	大野北中 A-2	340	1961	58	-	60			大	302				
506	大野北中 A-1	1065	1960	59	-	61			大					
507	大野南中 A-2	458	1972	47	-	49			大	159				
507	大野南中 A-1	2282	1963	56	-	-								
008	向陽小 C	906	1980	39	83	41			長	162	長	61		
041	二本松小 B	868	1980	39	-	-	集約化・複合化、共有化等のストックとして想定							
048	谷口小 A	4644	1980	39	56	42					長	191	長 2	291
504	大沢中 C	1718	1980	39	71	42					長	333	長	33
511	麻溝台中 C	1684	1980	39	-	-	集約化・複合化、共有化等のストックとして想定							
521	上溝南中 A-1	2506	1980	39	76	41			長	305	長	159		
016	相模台小 A-1	2312	1960	59	-	-								
016	相模台小 A-2	426	1964	55	-	-								
507	大野南中 B	1189	1960	59	-	-	集約化・複合化、共有化等のストックとして想定							
508	相模台中 E	1410	1966	53	-	56					大	233		
532	鳥屋中 A	2387	1984	35	-	38					長 3	635		
028	橋本小 B-2	1294	1981	38	65	42							長	321
046	宮上小 B-2	537	1981	38	-	-								
046	宮上小 B-1	641	1978	41	-	-								
050	淵野辺東小 A	1876	1981	38	65	42							長	396
501	相陽中 A	1716	1978	41	-	-								
519	弥栄中 A-2	1820	1981	38	75	42							長	363
520	相原中 C	1802	1979	40	-	-								
007	旭小 B-2	439	1964	55	-	-								
007	旭小 B-1	421	1963	56	-	-								
009	相原小 A	1401	1962	57	-	-								
012	南大野小 A-1	1753	1964	55	-	-								
505	旭中 D	1747	1962	57	-	-								
521	上溝南中 C	1346	1981	38	-	-								
522	小山中 B	2627	1982	37	-	-								
524	由野台中 A	3621	1982	37	-	-								
005	星が丘小 A-1	1202	1965	54	-	-								
007	旭小 A	2161	1965	54	-	-								
013	谷口台小 B-1	1793	1967	52	-	-								
014	中央小 C	1546	1964	55	-	-								
017	東林小 B	2283	1965	54	-	-								
506	大野北中 B	1902	1966	53	-	-								

長 長寿命化改修 大 大規模改造

- 1 築年数及び総合劣化度は、令和元年度(2019年度)末時点
- 2 児童数の推計を踏まえ、校舎の増築及び既存校舎の改修を行いました。
- 3 あり方基本方針に基づき、増改築工事を実施しました。

【令和6年度から令和9年度までの対象リスト】

下記の数字は概算事業費(百万円)

学校 番号	学校棟名	面積 (㎡)	建築 年度	築年数	総合 劣化 度	改修時の 築年数	実施年度							
							5年目	6年目	7年目	8年目				
							2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)				
520	相原中 A	3678	1979	44	77	42	長	160						
007	旭小 C	783	1958	65	-	66	大	206						
016	相模台小 B	1851	1959	64	-	65	大	408						
507	大野南中 A-1	2282	1963	60	-	61	大	596						
048	谷口小 A	4644	1980	43	56	42	長 ⁴	806	長	553	長	492	長	184
016	相模台小 A-1	2312	1960	63	-	65			大	474				
016	相模台小 A-2	426	1964	59	-	61			大	87				
028	橋本小 B-2	1294	1981	42	65	42	長	63						
046	宮上小 B-2	537	1981	42	75	43	長	141	長	21				
046	宮上小 B-1	641	1978	45	68	46	長	168	長	25				
050	淵野辺東小 A	1876	1981	42	65	42	長	87						
501	相陽中 A	1716	1978	45	58	46	長	444	長	68				
519	弥栄中 A-2	1820	1981	42	75	42	長	84						
520	相原中 C	1802	1979	44	77	46			長	405	長	72		
007	旭小 B-2	439	1964	59	-	60	大	116						
007	旭小 B-1	421	1963	60	-	61	大	111						
009	相原小 A	1401	1962	61	-	63			大	287				
012	南大野小 A-1	1753	1964	59	-	61			大	359				
505	旭中 D	1747	1962	61	-	63			大	358				
521	上溝南中 C	1346	1981	42	70	43	長	402	長	53				
522	小山中 B	2627	1982	41	69	43			長	591	長	104		
524	由野台中 A	3621	1982	41	79	43			長	814	長	144		
011	淵野辺小 B-1	3720	1959	64	-	65	長 ⁴	624	長 ⁴	1,442	長 ⁴	103	長 ⁴	241
005	星が丘小 A-1	1202	1965	58	-	60			大	246				
007	旭小 A	2161	1965	58	-	61					大	443		
013	谷口台小 B-1	1793	1967	56	-	59					大	368		
014	中央小 C	1546	1964	59	-	62					大	317		
017	東林小 B	2283	1965	58	-	61					大	468		
506	大野北中 B	1902	1966	57	-	60					大	390		
019	光が丘小 A-1	1890	1968	55	-	58					大	388		
057	小山中 A	9588	2002	21	-	24					中	359	中	359
502	上溝中 A	1621	1978	45	70	48			長	365	長	64		
520	相原中 B	1532	1981	42	70	45			長	345	長	61		
525	内出中 A	4217	1983	40	73	43			長	948	長	167		
052	新宿小 A	1843	1983	40	68	43			長	415	長	73		
522	小山中 A	1813	1982	41	69	44			長	408	長	72		
524	由野台中 B-2	738	1984	39	77	43						長	166	
524	由野台中 B-1	1835	1982	41	74	45						長	413	
523	若草中 B	3190	1982	41	69	45						長	717	
525	内出中 B	2296	1983	40	73	44						長	516	
052	新宿小 B	1544	1983	40	65	44						長	347	
527	東林中 A	3241	1984	39	72	43						長	729	
012	南大野小 A-2	1615	1967	56	-	60						大	331	
015	清新小 屋内運動場	1588	2000	23	-	27						中	139	
055	夢の丘小 A	8221	2001	22	-	26						中	308	
050	淵野辺東小 C	1818	1981	42	65	46						長	481	

長：長寿命化改修 大：大規模改造 中：中規模改修

- 1 築年数は令和5年度(2023年度)末時点、総合劣化度は令和元年度(2019年度)末時点
- 2 今後、施設の劣化状況の詳細調査、児童生徒数の推計、発注状況等により、改修の順番・実施期間を変更する場合や改修を行わないことがあります。
- 3 概算事業費については、社会経済情勢により変動します。
- 4 2を踏まえ、学校施設長寿命化計画に基づき改築等の整備を行います。

相模原市学校施設長寿命化計画

発行・編集 相模原市 教育委員会 教育局 学校教育部 学校施設課

〒252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2-11-15 TEL 042-769-8281